

コード	401010101
記入日	H26.6.6

課コード	116
課名	水産課
課長名	石司 泰栄
担当者	濱口 友司

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	後継者育成補助事業（21世紀の漁業担い手確保推進事業）
----------	-----------------------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 23 年度 ～ 平成 27 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け			
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6		
施策コード	401	施策名称	水産業の振興	項コード	3		
基本事業コード	40101	基本事業名称	後継者の育成	目コード	2		
事務事業コード	4010101	事務事業名称	後継者育成事業費	細目コード	1089		
関連計画	法令・条例規則等			新上五島町21世紀の漁業担い手確保推進事業費補助交付要綱			

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標					
(対象1) 漁協		(対象指標1) 8漁協					
(対象2) 町民		(対象指標2) 21,809人 (H25.4.1現在)					
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
(漁船リース事業) ・漁協が新中古漁船を購入し、新規漁業者に対し利用契約により漁船のリースを行い漁業独立の支援を行う。 (技術習得支援事業) ・漁家研修を受ける期間中の生活費、保険加入料、漁業資材購入等の研修に必要な経費を助成する。 (就業確保支援事業) ・受入漁家に対し、技術指導への謝礼及び漁船使用料に要する経費を助成する。	(技術習得支援事業) ・1名から申請があり、補助金を交付した。 (就業確保支援事業) ・1名から申請があり、補助金を交付した。	補助金交付件数 (全体)	7件	46.7%	補助金交付件数÷ 補助金申請件数	平成27年度	
		補助金交付件数 (全体)	2件	33.3%		平成25年度	
		① (達成率分析)	技術習得支援事業、就業確保支援事業それぞれ1件ずつの申請があり審査・確認のうえ補助金を交付した。計画では6件を見込んでいたが2件となり目標を下回った。				
		② (達成率分析)					
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
・新規漁業者の独立を支援し、担い手の確保を図る。		漁業担い手の確保	7人	46.7%	漁業就業者数÷ 漁業就業計画数	平成27年度	
		漁業担い手の確保	2人	33.3%		平成25年度	
		① (達成率分析)	計画では6人の就業者を見込んでいたが2人となり目標を下回った。				
		② (達成率分析)					

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	15	7	5	6	2	4	4		
	②									
成果指標	① 人	15	7	5	6	2	4	4		
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	21,450	9,050	6,895	2,155	2,155	6,200	6,200		
直接事業費 A	千円	17,950	6,950	5,495	1,455	1,455	5,500	5,500		
人件費 B	千円	3,500	2,100	1,400	700	700	700	700		
内訳	従事職員数	人	0.5	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円	6,644	3,894	3,167	727	727	1,375	1,375	
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	14,806	5,156	3,728	1,428	1,428	4,825	4,825		

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理由	新上五島町における漁業就業者は、平成20年は1,466名であり、平成10年と比べ1,139名(約43%)減少している。今後更なる減少が予想されることから、地域経済の維持、漁業集落の機能維持のために漁業就業者の確保を図らなければならない。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理由	町内での雇用の場が縮小していく中において、独立して漁業を営むことができる若手漁業者を育成することで、地域の活性化を図ることができる。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理由	事業を継続することによって成果を向上させる。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理由	新規漁業者の独立、漁業就業の第一歩を支援し、漁業の担い手の確保を図っている。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		代えられる ● 代えられない	理由	最小手段での実施を行っている。	

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2次評価	本町の基幹産業である水産業の新規漁業者の独立を支援し、漁業の担い手確保を図る上で必要な事業であるが制度の周知・啓発活動及び受入体制の強化に向け検討していくこと。
------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>このまま事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を見直して事業を継続</td> </tr> </table>	1次	2次	3次		●			このまま事業を継続		●		事業内容を見直して事業を継続				事業費を見直して事業を継続	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の休止</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の廃止</td> </tr> </table>	1次	2次	3次					類似事業と整理統合				事業の休止				事業の廃止
	1次	2次	3次																															
	●			このまま事業を継続																														
		●		事業内容を見直して事業を継続																														
			事業費を見直して事業を継続																															
1次	2次	3次																																
			類似事業と整理統合																															
			事業の休止																															
			事業の廃止																															

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。